

佐保会兵庫県支部だより

第 22 号

神戸市中央区山本通り4-2-9
佐保会兵庫県支部事務局 〒650-0003 TEL・FAX 078-221-3361

堂縁に
師第一列
银杏散る

堂縁に 師第一列 银杏散る

振る舞いの生きざま

那須青魚(S23・臨家)

まさか私が、一生の中で俳画に親しむ時を持つとは、思いもよらない事でした。

そのお話とは別に、本年五月の朝日新聞に小椋佳さんの事が掲載されていました。

氏は、東京大学卒業後、第一勧業銀行に勤めながら、私達の耳に快い「愛燦燦」「シクラメンのかほり」その他数々の名曲を生み、途中、勤務先を退社されて東大に再入学され、現在大学院で哲学を学びつつ舞台演出もされ、その上俳優として出演もされていますが、次の言葉に心を打たれました。

「ふるまい」という言葉があるが、それは「振り」と「舞い」という言葉からきているようですが、「振り」は親や先人たちから教えられてそれをまねる事です。そして「舞い」は自らを表現しつつ生きる事でしょう。私には戦後の日本人は、「振り」ばかりが上手になって「舞い」を忘れていたと思うんです。だから、これからは舞うことを日常化しなければいけないと思います。

以上の文章を読んで胸の中の思いを、表現方法が解らないままに居たものを掴んだ感じがしました。

人生五十年といわれた時代から今や人生八十年にならんとしています。その延長された三十年間は、今迄の通りの方式で進もうとしますと、気の遠くなる歳月です。

私は四十才を迎えた時、五十才迄に何か心をおどらせるような経験をしたいと、思い始めました。小椋佳氏の言葉を借りますならば、「振り」を始めたいと思ったわけです。ふとした事から「俳画」という今迄聞いた事もないジャンルに足を踏み入れ、画を描き、俳句を作り、今迄と異なった種類の人達と接する事になれば、未知の世界だけに楽しくない筈がありません。いっしょに舞いしれて居たのです。

勿論深くなるにつれて、「舞う」事のむずかしさを感じます。知識、感性、勇気、又その反対に、常識、「舞い」は自己を表現しつつ生きる事です。

佐保会の皆様それぞれに、「振り」の内容はさまざまですが、それぞれに豊かな感性で「舞って」いらっしやる先輩後輩にさすがと感じ入って居ります。

い佐保会の輪

神戸ポートピアホテルで



プログラム

1. 開会のことば
2. 支部長挨拶
3. 議長選出
4. 議事
 - (1) 新役員承認及び紹介
 - (2) 平成9年度事業報告
 - (3) 平成9年度会計報告
 - (4) 平成9年度会計監査報告
 - (5) 平成10年度事業計画
 - (6) 平成10年度会計予算
 - (7) 規約改正
 - (8) 奈良女子大学創立90周年記念事業募金について
5. 記念品贈呈
 - (1) 卒寿のお祝い
 - (2) 卒後55年のお祝い
6. 講演「今、輝いて生きていきませんか」
向野幾世氏
7. 会食(日本料理)
8. 各部報告
 - (1) 本部報告
 - (2) 佐保短大報告
 - (3) 大学婦人協会報告
 - (4) 佐保婦人学級報告
 - (5) 「若草」報告
 - (6) 「睦会」報告
 - (7) 第22号「支部だより」編集委員紹介(西宮市)
9. 閉会のことば

..... 総 会

エルニーニョの影響とかで、不順な天候の続いていた5月でしたが、最後の日曜日5月31日は見事な五月晴れで、新緑が眩しく感じられる日に、平成10年度総会が開催されました。新入会員の参加がゼロである事がちょっぴり残念でしたが、会員85名が参加しました。別記のプログラムに従って会が進行したのち長らく障害者教育に携わってこられた向野幾世先生の素晴らしいお話に心ゆさぶられる思いでした。この後、会食、歓談を楽しみ、出席して本当によかったという一日でした。

尚、会則に運用面で実情に合わない個所が出て来ており、会則改正がはかられ出席者の賛同を得て、下記のように決定致しました。

■会 費
支部会費を年額1000円→
年額2000円に(平成11年より)

■支部事業
「若草」運営委員の任期1年→
任期2年に

もう一つ大切な事として浅野支部長より奈良女子大学創立90周年記念事業募金にぜひともご協力をとのお話のお願いのお話がありました。



平成10年度
佐保会兵庫県支部
5月31日(日)

みんなで育みた

・～卒寿のお慶び～

三浦 静様(S4文)

早川 路様(S4家)

土井芳子様(S2保)

・～・～・～・～・～・～・～

— 講 演 —

「今、輝いて 生きていきませんか」

こうのいくよ
向野幾世氏 (S.33文教)

平成10年度 新入会員

学 科	氏 名	就 職 先
1 文 社	岸本 恵子	さくら銀行
2 文 英	星山 梨絵	三菱信託銀行
3 文 英	角倉 徳美	神戸大学大学院
4 文 体	青枝 直子	(株)ファミリア
5 文 体	奥山 恭子	奈良女子大学大学院
6 文 体	小澤亜紀子	奈良女子大学大学院
7 理 数	藤垣 佳子	神戸大学大学院
8 理 化	中西 暁子	松下電器産業(株)
9 理 生	土井 都	
10 理 生	南 千穂	(株)フジコンピューターシステム
11 生 食	脇田 美樹	(株)ロック・フィールド
12 生 ア	兼本 文子	(株)ワールド
13 人 生 文	宮田奈緒子	東陶機器(株)
14 人 生 文	深山 真希	
15 人 生 シ	長井 竜子	中央実務専門学校
16 人 住 環	関 春奈	(株)瀬戸本淳建築研究所

大 学 院

17 文修史(H8文史)	川浪 聡子	兵庫県庁
18 文修体(H8文体)	平崎 典子	(株)日本コスモトピア
19 文修体(H8文体)	三ヶ尻桂子	宝塚市長尾幼稚園
20 理修化(H8理化)	井筒 香織	京都大学
21 理修化(H8理化)	恩地 陽子	ダイセル化学工業
22 理修化(H8理化)	豊嶋 葉子	(株)松下情報システムテクノロジー
23 理 修 情	篠原久姫子 (笠間)	神戸大経済経営研究所 機械計算室
24 理修情(H8理情)	塩野由美子	シャープ(株)
25 家修食(H8家食)	坂本 朱子	フジッコ(株)
26 人 博 生 (H5家食H7家修食)	西池 珠子	兵庫医科大学助手



奈良県立障害児教育センター所長、奈良西の京養護学校長、奈良教育研究所障害児教育部長を歴任された先生は、退職後訪ねたインドでお買い求めになったパンジャブスーツをお召しになって、そこでの体験を情熱的に話し始められました。

常に、マザー・テレサの言葉を心の杖としてこられた先生は、マザーのお墓の傍で、その息吹を感じとり、マザーの施設でのシスター達の働きぶりに心を打たれ、共に生きることの尊さを私達に伝えて下さいました。

そして、ご自分の人生を振り返りながら、障害児・者とのかかわりを通じて得られた生き方のキーワードを掲げ、「今、輝いて生きていきませんか」と語りかけられたのです。自分から行動を起こし、苦しくとも逃げたらあかん。オンリーワンの、かけがえのない人生を自分らしく生き、まわりの人々、遠い世界の人々にも思いをめぐらせ、自らかかわること、と。

出席者全員が、先生のバイタリティーあふれるお話に深い感動を覚えました。



若草だより

●若草の活動報告と予定

平成10年4月4日(土) 折り紙教室
 5月31日(日) 第6回若草定例会
 10月16日(金) 洋菓子作りと酒蔵めぐり
 平成11年1月23日(土) 若草新年会

平成10年度 若草運営委員

(西宮市&尼崎市担当)
 (西宮) 安井 孝子 (0798-52-8082)
 芝池 礼子 (0798-67-7913)
 安達由利子 (0798-23-5286)
 (尼崎) 伊藤 恭代 (06-429-4432)
 宮本 明子 (06-416-6388)

若草定例会より

支部総会に続いて若草の定例会が開かれました。
 本年度より、運営委員の任期が二年となりました。半数ずつ交替していきます。今年は新たに西宮から三人加わりましたが、尼崎の委員お二人が残ってくださり、とても心強く思っております。

手作りバザーやコンサートなどいろいろな活動の中で、皆様のご好意により、若草の収益として残ったお金があります。これは、佐保会の活動としてふさわしいボランティア活動に使うことになりました。何かよい使い道がありましたら、ご提案ください。

また、第三回若草コンサートを、平成十一年秋に予定しております。ご協力をお願い申し上げます。

その他、楽しい企画がありましたらどうぞお寄せください。

(安井 孝子
 S45・理化)



若草新年会へのお誘い

時 平成11年1月23日(土)
 午前12時～午後2時30分
 午前11時30分よりロビーにて受付

所 甲子園都ホテル1F
 京料理“古都” ☎0798-45-3150
 阪神甲子園駅西口前

参加費 5500円

(申込みは1月10日迄 運営委員へ)



折り紙教室

桜の花も満開の四月四日、尼崎女性センターテレビエにて、山川はるえ先生を講師にお迎えし、折り紙教室が行われました。
 当日は十八名の会員と子供四名が机を囲み、用意していただいたかわいらしい折り紙で、みかんかごや三角箱等、数点の作品を作りました。

左右、表裏といろいろ戸惑いつつ、臨席の方のご助言もいただきながら、完成させることができました。いずれも実用的で、大き





や材質を変えれば、おしゃれなインテリアとしても利用できそうです。出来上がった籠にキャンデーなどを配ってくれるお子さんもあり、楽しい、あつという間の二時間でした。

会員製作の小品の展示もあり、あらためて、日本の文化としての折り紙の魅力を発見した集いでした。

同行した娘も、帰宅後、自慢げに兄弟に披露していました。

また機会がありましたら他にもいろいろ教えていただきたいと思います。

(大山 弘美 S56・家被)

なつかしい睦会の集い

久野 禮子 (S30・理物)

平成九年の睦会は、快晴に恵まれた爽やかな日でした。私は、仕事の関係で殆ど佐保会の行事に参加できずにはいましたが、三年前に退職し、郷先輩や浅野会長からのお誘いもあり、この度の睦会にも出席させて頂きました。

阪急御影駅北側の西村屋「花みかげ」に参りますと、すでに大勢の方々が席についておられ、懐かしい大先輩諸姉のお元氣な姿も見られました。

睦会は、社会的にも家庭的にも一つのことを成し終えて、自分自身を生きることが出来る還暦以降の人たちの集まりだけに、落ち着いた雰囲気になっています。

内山様から、折紙の紅葉を頂き、一同で白秋の「落葉松」や藤村の「初恋」を朗読していますと学生時代に歩いた「ささやきの小道」が思い出されました。この間、久しぶりに母校の「ニュートン祭」に参りましたが、正面の異人館づくりの旧講堂が保存されているだけで、あの「驚張り」の廊下、鹿が草を食んでいた中庭のある寮の付近も鉄筋の校舎が建っていました。

本日に青春は遠くなったという寂寥感を覚えました。睦会に出席いたしました心なごみます。

今回は、昭和三十年卒業の者が、当番になるとお聞きしまして、東様を中心にご相談をして、神戸北野の「六甲荘」を本年十月十一日(日)に予約いたしました。

事前に、「花みかげ」でお世話になりました森田様から丁寧にお教え頂きましたので何とか役目を果たせると思います。六甲荘は、何度も訪れた方も多いのではないかと思います。大震災の傷跡も癒え、「風見鶏の館」も復元してあります。ぜひ、秋のひとときをエキゾチックタウンでと考えています。賑やかな睦会になりますよう、ご協力をお願い申し上げます。

睦会平成十年度当番

(S三十卒)

東、月森(文国)
小島、多賀谷、久野(理物)



KAZU

卒寿のお祝い

明石市 内匠 慶子

昭和四年文科ご卒業の三浦静様が、今年卒寿をお迎えになられましたので、お祝いの奈良扇を息子様のお宅へお届けに参りました。数日後に「ライフ明海にて」と記されてご本人から温かなお葉書が届きました。

奈良扇は殊の外お喜びになり、「奈良らしいデザイン、朝に夕に眺めさせていただきます」とありました。また、「ここは海岸で明石大橋もすぐそこに見えます。今度出来た西公園にも先日遠足で連れて行って貰いました」ともおっしゃり、「家族や看護婦さんに力をいただき毎日暮らしています」と、穏やかな九十才の日々を感謝の気持ちで過ごしておられます。卒寿に奈良扇をお祝いすることは、こんなに素晴らしいことと、改めて感激いたしました。これも郷先輩が同郷で、三浦様のことをよくご存じで、色々アドバイスをして下さったお陰と有難く思っております。

「佐保会」は、素晴らしい方々の集まりで、人と人との絆が強く、尊敬する先輩の方々をお手本にして行きたいものと、強く思ったことでした。

華やぐころを迎えて

回想

谷澤郁子(S20・文)

還暦を十三年も過ぎて、振り返ってみると、六十才は人生で最多忙、最高の時代であった。たわわに熟れた実が落ちる時でもあった。

私は転勤の多いハードな職業の人と結婚したので、学校勤務はその時に止め、家庭を取りしきることになった。六十才で姑を、六十才で舅を、長患いの後見送った。六十二才の時、主人が情報産業界のまとめ役として藍綬褒章を受け、共に宮中に参内したこともあった。その間、四十代から始めた書道は、私自身の生き甲斐として離さなかった。かな、漢字と、汲めども盡さない世界だった。出張勝ちの主人だったので、勉強の時間が十分持てたし、色々なことがあっても自分を生きることが出来た。書くことよって辛いことも乗り越えられた。

六十代は旅行もした。主人と共に、ロンドン・パリ・ドイツ・イタリア・シドニー・ニュージーランド・米

国・カナダ・韓国・書の源流—西安等を訪れた。

「父のくれしわが名立子よ 月を仰ぐ」立子、「母のくれしわが名の郁」は馥郁の郁、私の人生は馥るものであったか？ 私なりに精一杯生きてきた。

震災は第二次大戦の爆撃の後と同じ位悲惨なものだった。主人は阪急電車が通じた翌日から入院、八ヶ月退院できず、生死をさ迷った。今すこしづつ歩けるようになった。人生嫌ほど次々と事が起ってくる。

サムウエル・ウィルソンの詩より又引き、「青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう。年を重ねただけでは人は老いない。理想を失うとき老いる」と

二人の娘もよい家庭をもつことができた。生涯の友としてきた筆墨で、今も若い人達と繋がり、役に立っていると思ふこと、私は精一杯生きていく。



はたちの手習い、六十の手習い

—ガリ版とパソコン—

浅見美智子(S31・文国)

卒業後活躍されている諸先輩のあまたある中に、私自身も教師生活を十年で止め、平凡な主婦となつて年を重ね、体も頭も凋落の一途を辿っている。

さまざま偶然が一冊の本の出版を余儀なくした。卒論指導の木村三四吾先生は天理図書館の特別司書であった。戦後の混乱期に多くの貴重書がその所在を変え、図書館にも入り、閲覧が可能になり、それらによる研究が昂揚していた頃であった。蕪村の高弟で、蕪村門の俳書の出版や経営に力を発揮した、京都の俳人几童きどうの句稿がその中であつて、中興俳諧を知るには非常に価値のある資料であつた。卒論に几童を選び、勧められるままに二三年後、几童句の全集を私家版で纏めた。ガリ版、手刷り、製本だけ業者という時代である。未熟な浅学が作った本は、誤り、訓み違いなど気付くたびに恥しい想いがしたが遠い昔のことであつた。

その後大谷篤藏先生との三十年ぶりの邂逅、関西圏への再移住と

いう環境の変化の中で、昔の私家版が研究者の間で未だに利用されていることを知った。これはどうしてもやり直さなければならぬ。資料の整理にはパソコンが必須であつた。そのキーを叩くことから六十の手習いが始まった。やつと本が陽の目を見た時には、大谷先生はすでに鬼籍に入つておられ、木村先生に序文を頂けたのがせめてもの幸せであつた。

毎日新聞の囲み記事のインタビューに写真入りで出たことで、あちこちからお声を頂いたが、実は将棋の谷川氏が羽生氏を破った祝賀会に来られた記者のついで取材なのである。出版社の方で、近頃流行の高齢者の生き甲斐や余暇の過ごし方ということでも売り込んだらしい。私も、学者でもない者の身分不相応に高価な本が少しでも売れてくれたら、木村先生への義理で出版を引き受けてくださった出版社への贖罪にもなるうかと取材に応じたのである。何か打ち込んで心華やかに老を生きるといふと、そこに静謐な満足を伴う語感があるが、私はそれには程遠い。やることはいくらでもあるので、頭の凋落だけは速度を落とさず、欲しいと願っている昨今である。

附

凡^{さとう}董は蕪村の高弟として蕪村を補佐し、蕪村一門の統率にあたった俳人です。「其雪影」「あけ鳥」「此ほとり」「続あけがらす」などの蕪村門の主要な俳書の編集など、実質的な経営は凡董を中心に行われました。

私のその時

永吉和子 (S34・理化)

阪神淡路大震災の後の種々の混乱も一段落した一昨年の夏、商社マンとしてカナダに駐在している甥家族を尋ねての旅行、公募展に応募するための絵の制作の追込み、グループ展の当番幹事と忙しい七月、八月を過ごした後でした。

刺すような痛みでしたが、その箇所が腰の辺りだったので、「とうとう来た」と近所の整形外科で診てもらいました。年令に相応した腰痛との事、湿布薬を貼ることにしたのです。ああ、年なんだろうか……。

さて、その日の夜中、湿布を貼った辺りに激痛が走り目が覚めたのです。あとは一晩中体を蝦のように曲げての七転八倒でした。後でこの痛みはヘルペス(帯状疱疹)によるものであることが分かり、然るべき治療を受けましたが、温

めれば痛みの和らぐヘルペスに冷湿布を貼ったので一時はどうなるかという思いをしたのです。

平常から、体も丈夫で、同年令の人に較べ白髪も少なかったり、その年令が其処迄近づいていても、若ぶっていたのに、それなのに、整形外科に行ってみるとは、思っている事と行動とはちぐはぐでした。知らず知らずのうちに年令を意識していたのでしょうか。

ヘルペスもすつかり治って、秋風を心地良く感じる頃、銀行より、大学卒業後の僅かの期間勤めた間の厚生年金の受給手続きをしましよとの話がありました。

主人との二人三脚で自営業をなりわいとしており、定年もないので、本来は節目の年令もそんなに深く考える事もなかったのです。

主人が娘二人から赤いセーターをプレゼントされ、嬉しそうにしているのを見て、私は「こんなの厭だなあ」と思っていたのに、主人の時の赤いセーターに替って、私は赤い発疹を身に纏う羽目となったのでした。

その時が来たことは、刻印を押すように、鮮明に過ぎました。今一つ一つの山を登り終えたようなすつきりとした気分、これからは以前より増して、気持ち若く、華やいで行くつもりです。年令はヘルペスと共に消えました。



KAZU

終わり良ければ

凡て良し

安藤晴美 (S32・文幼)

私にも三十才、四十才、五十才とそれぞれの節を迎える時には、それぞれの想いがあった。しかしやはり還暦と云う節目は予想以上に大きかった。

人生の最後の二十年―起承転結―総仕上げの時の二十年、それで私の人生の価値は決まるのだとさえ思えた。これからの二十年を如何に生くべきか、本屋さんにはそれなりの本もたくさんあり、読んではみたが何か違う。

未だ何も見えないままに、六十才の誕生日の五日前、私は何

の前ぶれも無く突然に最愛の母を亡くした。そしてその翌月には初孫を得た。この悲喜こもごもの慌ただしさの中で、自ずと私の人生の展開があった様に思う。親を見送り子孫を得る、これは誰もが経る道ではあるが、その場に直面して初めて、自分の人生の終りへの道がクローズアップされて見えて来たように思う。

人生の最後の時に何が一番大切なのか。それは一番身近かに居た母が教えてくれた。

凡ての事象、凡ての存在に感謝し、諸々の執着を薄めていくこと、そこには完全なる精神の自律と自由がある。今の私には未だ未だ到達出来ない聖域ではあるが、目標は定まった。

その後の二年半の間に、私は四人の孫をつぎつぎと得る事になり、何とも忙しい日々となったが、仕事も後五年後には引き継ぐ事を目標に、今が一番幸せな忙しさの中にあるのかも知れない。

そして次の節目を迎える頃には、自分の囲りからもう少し外へ眼を向け、もう少しの間誰かの役に立つ生活が出来たら最高……同じ世代の仲間と老の淋しさを分かち合い、家族の見守りを感じて受け入れられる最後の数年を夢見る―私は欲ばりのようだ。

夙川公園

甲山附近に源を発し、大阪湾に注ぐ夙川の河川敷を利用した公園で、谷崎潤一郎の小説「細雪」にも描写されています。この南北に伸びる二・七kmの河川敷は、春の桜、夏の緑、秋の紅葉と四季折々の景観を楽しませ、自然の移ろいを見せ人々の心を和ませてくれる場所です。

特に阪神香栢園駅から阪急苦楽園口駅までの両岸に植えられているソメイヨシノを中心とした約二三〇〇本の桜の並木は、平成二年に桜の名所百選にも指定されました。周辺は阪神淡路大震災で甚大な被害を受けましたが、桜並木は健在で、今年もシーズンには多くの花見客で賑わいました。

また、阪急夙川駅南側にある夙川カトリック教会は、昭和七年に建てられ、尖塔が美しいネオゴシック様式の建築物です。クリスマスシーズンに点灯されるロマンチックな電飾も一見の値があります。



震災記念碑公園の「追悼之碑」

桜で有名な満池谷周辺は、阪神大震災により大きな被害を受けました。えん堤が崩壊したニテコ池は今では復旧工事が完了し美しい景色を呈しています。この池の東側に西宮震災記念碑公園があります。この公園は、震災の記憶を風化させることなく後世に伝えるとともに、犠牲となられた方々を追悼する場として整備されました。

「阪神・淡路大震災犠牲者追悼之碑」は、平成十年一月十七日に除幕され、多くの市民が追悼式に参列しました。追悼の碑に

は、ご遺族の意向に基づき、一〇七九人の犠牲者の名前が刻銘されています。

このほか、被害状況などの震災記録、震災当時の様子を伝える写真を焼き付けた陶板などが設けられています。

神呪寺

四季折々に彩られる標高三〇九mの甲山は、ちよつと散歩の延長程度で気軽に登れます。花の頃なら、阪急夙川駅から夙川の流れに沿って辿り行き、神呪寺の裏から約三十分の登り。頂上からは四方の眺望が楽しめます。特に元旦のご来迎には多くの人達が登ります。茜色に染まる雲の下に生駒、葛城の山々が

稜線を連らね、遠く関空の方まで、見わたせます。

南麓の神呪寺は、甲山大師の名でも親しまれ、千年を越える長い歴史を持つお寺です。ご本尊の木造如意輪観音坐像は、河内の観心寺、奈良の室生寺と合わせ、日本三如意輪観音に数えられるもので、秘仏とされて、毎年五月十八日に限り拝観できる国の重要文化財（他に三仏あり）に指定されています。

甲山頂上からは、仁川方面へ下りるなだらかな道もあって、仁川ピクニックセンターへと通じています。

北山緑化植物園

北山貯水池の南に広がる北山公園の一部を利用して作られている公園です。一部と言っても広さが五・五haもあり、周りの自然と調和したイングリッシュガーデンには、四季折々の花が咲き乱れ、訪れる人々を楽しませてくれます。ここでは、美しい花々を見せるだけではなく、ガーデニング教室が開かれ、花好きの人がこの教室に参加して、自分の家の庭やベランダでガーデニングを楽しんでいます。し



辺
すめぐり



たがって花の苗や用土もここで求める事ができます。またフクシアの改良種エンジェルスイヤリングは、このバイオ施設で、サントリーと共同開発されたものです。

園内には、西宮市と姉妹都市である中国の紹興市との友好のシンボルとして蘭亭を再現した小蘭亭や墨華亭があります。書聖、王羲之の故事にちなんで、毎年春には曲水の宴が開かれます。心身ともリフレッシュできる場所です。

西宮のオアシス甲山

—石は語る二億五千万年の歴史—

地図を見ると西宮はおすわりをした犬のようで、ちょうどその真中あたりに甲山があります。その周辺一帯が森林公園となっており、多くの子供達が飯盒炊さんや、キャンプの経験を持っている場所でもあります。

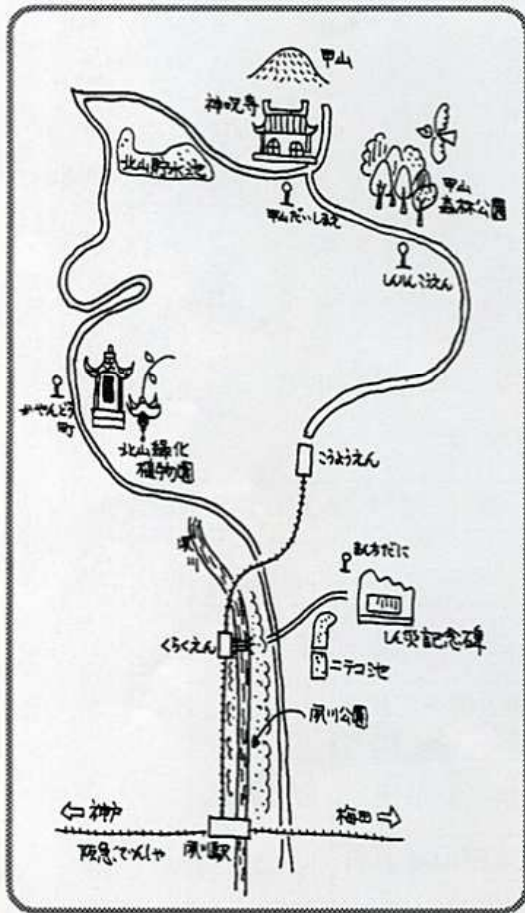
「甲山は昔火山だったんだよ」そう言うとき多くの子供達は「六甲山も？」と聞きかえします。「六甲山はちがうよ」「どうしてそんな事がわかるの？」と話は続きます。甲山は安山岩という岩—地表付近でマグマが急に冷えてできる—でできていますが六甲山は花こう岩—地下深くゆっくり冷却—でできています。この花こう岩が御影石として全国に有名な石ですが、これはほんの八〇〇〇万年前位に登場しました。日本列島をつくっている二億五千万年前頃にできた古生層をつき破ってゆっくり冷えてできたのです。花こう岩にとり囲まれた古生層は、住吉川の川原でみつける事ができます。一五〇〇万年前頃、西宮付近は浅い海となり土砂が堆積していきました。今、グリーンスタ

甲山周四



ジアムでこの地層を見ることができきます。また、この頃火山活動が盛んで甲山ができたのです。甲山青年の家の前には六甲花こう岩をつき破って噴火した甲山安山岩が置いてあります。陸地化してきた甲山は風雨に侵食され七〇〇万年前頃には今の形となり、三〇〇

二五〇万年前頃、この付近は再び海となり、甲山は島になったり、水没したりしたのです。この頃六甲山はまだ低い山で、何回か断層ができる度に六甲山は高くなり大阪湾は沈んでいったのです。一九九五年一月一七日の兵庫県南部地震は今だに傷痕を残しており、二〇〇〇年に一回というこのレベルの地震が、二五〇万年の間には一〇〇〇回起きたわけですから。低い山であった六甲山が九〇〇mの山になったのもうなづけます。日頃、何げなく見ている六甲山、甲山ですが、石が語ってくれた歴史と、このあいだの地震での体験をダブらせると、また別の感慨が沸いてきます。



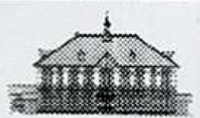
甲山周辺めぐり後記

久々に甲山森林公園を訪ね思い出を顧みつつ森林浴の心地よさを満喫させて頂いた。季は五月、緑に溢れ鳥唱う自然界凡てが活気付く。生憎当日は小雨煙る蒸し暑さの中会員の方の運転で満池谷水源池を巡りすぐ傍の広場に、今春建立せられた阪神淡路大震災の慰霊塔に合掌。次で甲山へと車を走らせ一旦下車、深緑の公園は人気なく道の両サイドに列ぶ石の彫刻を確かめ乍ら噴水のある高台へ。森は霧がかかり感慨ひとしお、滲む汗にも次の目的地神呪寺へと急ぐ。展望台での眺望は隣接都市を一望に新幹線や湾岸線だと語り合いつつ一息入れる。最後の鷺林寺へと車乗、道標を頼りに生い茂る木立の石段を登り詰めるとひんやりと小暗い佇まいの御寺は西国八十八ヶ所の札所。巡礼の銅像が私共を見下ろしている。西宮市には此の様な街の喧騒を余所に古史に繋がる閑静な別天地が点在、海に山に四季折々の風情が旅人を癒してくる。光と風、広い海、緑豊かな西宮を駆け足の旅から。橋本美恵子



記念事業募金について

創立九十周年に当たって、記念事業募金が行われておりますこと、佐保会本部からの趣意書により、皆様方には既にご高承の事と存じます。募金の期間は平成十一年四月十九日までとなっておりますが、兵庫県支部の皆様方には、この趣意にご賛同を賜り、この際一人でも多くのご協力をいただけるよう、紙面を借りてお願い申し上げます。紙面を借りてお願い申し上げます。紙面を借りてお願い申し上げます。紙面を借りてお願い申し上げます。



支部長 浅野 晶子

佐保婦人学級 平成10年度運営委員

坪根	ミキ	S16B理	東灘区	078-452-0550
大久保勝美		S31文国	北 区	078-591-2493
立花	紀子	S38理数	東灘区	078-451-0654
山川はる江		S19保	尼崎市	06-431-4856
寺田	翠	S37文幼	明石市	078-911-5364

社会教育活動の一環として佐保会員外にも参加者を募り、年間十回以上の活動を計画いたします。お誘い合わせの上ご参加ください。

年会費 三〇〇〇円
当日のみの会費 五〇〇円

お申し込みは佐保婦人学級運営委員まで。

佐保婦人学級

お慶び

兵庫県教育功労賞受賞
兵庫県公安委員長就任
兵庫県教育委員 就任

加藤 湯浅 澄子様 (S31 文幼)
並川 夏子様 (S29 文地)
明子様 (S24 保)

平成10年度 佐保婦人学級今後の予定

月 日	内 容	会 場	時 間	講 師	備 考
平成10 10.31 (土)	美術鑑賞と フランス料理	和弘美術館	JR朝霧駅 集合 9:30		親睦 バス旅行
11.19 (木)	習字 (かな文字)	神戸市 勤労会館	13:00 ~15:00	川口登美子氏	年賀状
平成11 1.26 (火)	講演 「蛇が地球を救う」	神戸市 勤労会館	13:00 ~15:00	摩耶兵庫高校教諭 楢原 纏 氏	
2.17 (水)	手づくり小物	神戸市 勤労会館	13:00 ~15:00	都筑久美子氏	裁縫用具
3.16 (火)	閉講 美術鑑賞のてびき	神戸市 勤労会館	13:00 ~15:00	美術館の学芸員 の予定	

平成9年度会計報告並びに平成10年度会計予算

収入の部			支出の部			
費目	平成9年度決算	平成10年度予算	費目	平成9年度決算	平成10年度予算	
前年度繰越	2,201,820	2,083,525	本部会費	649,000	630,000	
会費	1,373,200	1,310,000	総会補助費	92,112	120,000	
内訳	本部会費	649,000	通信印刷費	257,465	160,000	
	支部会費	724,200	交通費	56,680	60,000	
預金利息	550	68,000	事業費	名簿印刷費	10,500	440,000
本部より補助	87,920	54,000		名簿送料	2,960	220,000
寄付	4,000	0		支部だより印刷費	200,000	200,000
合計	3,667,490	3,515,525		睦会補助	30,000	30,000
				若草補助	30,000	30,000
				佐保婦人学級補助	30,000	30,000
				リーダー会経費	46,942	55,000
資産内訳 (H10.3.31 現在)			慶弔費	62,075	70,000	
			事務費	115,696	120,000	
定額郵便貯金	1,991,000	1,120,000	予備費	535	5,000	
郵便貯金	8,551	6,122	小計	1,583,965	2,170,000	
振替貯金	37,815	計 1,126,122	次年度繰越	2,083,525	1,345,525	
現金	46,159		合計	3,667,490	3,515,525	
計	2,083,525					

平成10年度地区リーダー

地区名	氏名	年次	「最寄会」報告	地区名	氏名	年次	「最寄会」報告
東灘区	松尾 薫	S47理化	今秋開催予定	加古川市	田中 洋子	S44家食	6月14日開催会食
	久保伊希子	S51家住		高砂市	塩谷 迪代	S34家食	万葉の森散策出席者
灘区	田辺 富子	S24理	開催予定日を相談中	加古郡			10名 次回高砂市
	寺尾喜美子	S33家住		三木市	杉浦 征子	S40理化	2月14日講演会と
中央区	右田 俊子	S52理物	4月25日神戸風月堂で	加東郡			懇親会を開催
兵庫区	田中加代子	S47文教	開催 参加者10名	多可郡			出席者13名
長田区	藤田セツ子	S33家住	次回未定	西脇市			
北区	森田 絹子	S29理数	秋頃会食の予定	小野市	村田 好子	S39家食	
	小池 典子	S33文英		加西市			
須磨区	岡本 悦子	S37家被	4月4日離宮公園にて	美囊郡			
	大橋 節子	S41文英	花見会開催	姫路市	安東 和子	S38理植	5月9日
垂水区	竹田喜代子	S22理数	平成11年2月開催予定	相生市			食事をしながら
	東 卓子	S30文国		赤穂市			近況報告会
西区	甚目 律子	S36家食	6月13日開催参加者8名	赤穂郡			出席者16名
	小幡 京子	S51家被	通し番号がよかった	佐用郡			
尼崎市	山川はる江	S19保	秋頃伊丹地区と合同で	龍野市	塚本富貴子	S33家住	
	鈴木 久子	S37家食	開催予定	揖保郡			
西宮市	永吉 和子	S34理化	10月はり半にて会食と	神崎郡	鎌谷 直子	S39家食	
	北川 清子	S40家食	懇談会の予定	飾磨郡			
芦屋市	春田 君子	S26家	来春を目処に検討中	宍粟郡			
	光長紀美子	S34理動	(芦屋十景)	但馬地区	米田 純子	S40理動	初めてのなので様子を見て
伊丹市	塚口 郁子	S35家住	11月上旬開催予定	三田市	中島ひかる	S61理数	年内に第1回目の
	都築 暎子	S37家食	尼崎市と合同で		勝又千寿代	H1家修被	集まりを予定
宝塚市	植田 明子	S32家住	11月に開催予定	多紀郡			
	林 雅子	S33文史		氷上郡	足立 瑞穂	S40家食42家修食	昼食会を計画中
川西市	川口登美子	S39家食	12月6日「梅の花」で		廣内 保子	S44理植	
川辺郡			開催予定	淡路地区	大山 明美	S31理数	若い人達が中心に
明石市	内匠 慶子	S18保	11月15日開催予定				なって10月第4土曜
	寺田 翠	S37文幼					前後に開催予定

平成10年度支部役員

	役名	氏名	卒業年学部	住所	
A 支部役員	支部長	浅野 晶子	S23家	中央区	
	副支部長	大久保勝美 安井 孝子 (若草代表)	S31文国 S45理化	北 区 西宮市	
	事務局	吉江 順子 (名簿)	S35文社	宝塚市	
		瀬川 順子 (会計)	S41文英	中央区	
		射延 瑞枝 (地区リーダー)	S42家被	三木市	
藤井 勢子 (書記)		S48家食	中央区		
会計監査	内匠 慶子 東 昌子	S18保 S19文	明石市 芦屋市		
B 本部役員	本部理事	佐藤すなほ 浅野 晶子	S19家 S23家	尼崎市 中央区	
	本部評議員	山川はる江 大久保勝美 吉江 順子 寺田 翠	S19保 S31文国 S35文社 S37文幼	尼崎市 北 区 宝塚市 明石市	
		監事	立花 紀子	S38理数	東灘区
		佐保短大理事	八木 静子 浅野 晶子	S 9 文 S23家	須磨区 中央区
C 支部活動委員	大学婦人協会 役員	鈴木 久子 藤岡 利子	S37家食 S38家被	尼崎市 尼崎市	
	「支部だより」 22号編集委員	永吉 和子 北川 清子 他	S34理化 S40家食	西宮市 西宮市	
	「若草」 運営委員	芝池 礼子 安井 孝子 安達由利子 宮本 明子 伊藤 恭代	S44理化 S45理化 S51家食 S49家被 S54理化S56理修化	西宮市 西宮市 西宮市 尼崎市 尼崎市	
	「睦会」 運営委員	昭和30年卒業者			
	「佐保婦人学級」 運営委員	坪根 ミキ 山川はる江 大久保勝美 寺田 翠 立花 紀子	S16B理 S19保 S31文国 S37文幼 S38理数	東灘区 尼崎市 北 区 明石市 東灘区	

事務局便り
平成9年度事業報告

- ・平成9年4月19日
第15回佐保婦人学級開講
- ・5月25日 神戸ポートピアホテルで支部総会及び第5回「若草」定例会開催
- ・8月27日 地区リーダー会開催
- ・10月11日 第2回「佐保会若草コンサート」開催

平成10年度事業計画

- ・平成10年4月14日
第16回佐保婦人学級開講
- ・10月19日 「睦会」開催
- ・11月 第21号「支部だより」発行(川西市・川辺郡担当)
- ・平成10年1月11日 新年会開催
- ・3月19日 第15回佐保婦人学級閉講
- ・5月31日 神戸ポートピアホテルで支部総会及び第6回「若草」定例会開催
- ・8月27日 地区リーダー会開催
- ・10月11日 「睦会」開催
- ・11月 第22号「支部だより」発行(西宮市担当)
- ・平成11年1月9日 新年会開催
- ・3月16日 第16回佐保婦人学級閉講
- ・於「澤村」

哀 悼

川瀬一子様	S 4 臨国	H 9. 4. 16 没
池田和子様	S 25 文	H 9. 9. 14 没
加藤ふく様	T 15 文地歴	H 9. 11. 16 没
田中昌代様	S 8 文	H 10. 2. 5 没
萩田順子様	S 29 文英	H 10. 2. 6 没
井上弥生様	S 31 文専英	H 10. 3. 6 没
	S 20 保	H 10. 3. 6 没

平成11年度 支部総会

- ・平成11年5月23日(日)
- ・神戸ポートピアホテル
- ・和楽の間

編集後記

西宮地区が支部だより編集の当番と言われた時には、「どうしよう」との一言につきましました。それでも走り出したら何とかなるもので、少人数ながら編集会は和気あいあい、まさしく華やいでございました。投稿をお願いしました方々にはお忙しい中、心良くひき受けていただき、お陰様でどうやら形を整えることが出来ました。ご協力いただきました皆様に深くお礼申し上げます。

(編集委員) 橋本、赤川、安藤、永吉、後藤、北川、芝池、安井、池沢